

軽井沢コテージ2泊3日  
季節の散策とショッピング

神山清英（東京都新宿区）

軽井沢で、優雅に2泊3日の避暑をしました。本年は梅雨明けが例年より早く、日本全体が猛暑の様相です。が、涼しく爽やかな軽井沢で早朝の鳥の囀りで目覚め、高原を散策し、明治以来の先進避暑地の文化や歴史を堪能しました。宿泊は中軽井沢駅から車で5分、千代田区の施設メレーズ軽井沢でした。この施設は、カラマツの林の中に数棟のコテージがあり、別荘滞在の気分を味わいました。



日時：2018年7月10日（火）～12日（木）  
宿泊費：15,000円 自己負担：交通費、入場料など  
最寄り駅：しなの鉄道 中軽井沢駅  
参加：12名（第1日）10名（第2日）  
神山清英、西村美津代、遠藤好美、佐藤裕子、  
小野祥江、小野孝司、西村久美子、宝田正志、  
村上有三、村上千恵子、中条裕子、栗林昌枝  
集合：中軽井沢駅 当日午後1時  
宿泊：メレーズ軽井沢（千代田区施設）  
リーダー：神山清英、サブ：西村美津代

第1日午後 中軽井沢自然散策ツアー（ハルニレテラス、内村鑑三の石の教会、北原白秋文学碑）

第2日 二手に分かれました

軽井沢組；碓井峠の見晴台観光、雲場池散策、旧軽井沢散策・ショッピング、有名なテニスコート見学

小諸懐古園組；旧小諸城跡散策、徴古館、小諸義塾記念館、島崎藤村記念館、藤村惜別の歌碑、小山敬三美術館

第3日 旧近衛文麿別荘（現市村記念館）雨宮敬次郎記念館、ショッピング

グルメ

◆メレーズ軽井沢のお食事

白無地のお皿にいろいろな料理を少しづつ飾り盛りしてあり、目にも楽しくいただきました。和風あり、洋風ありのバラエティいっぱいでした。飲み物も、牛乳・ジュース・コーヒー・日本茶と多彩でした。夕食では、軽井沢高原ビールを楽しみました。



◆昼食は3回、いずれも蕎麦を堪能

軽井沢駅そばの「本陣」と中軽井沢駅そばの「かぎもとや」の蕎麦のたれは関東風のからめ、小諸駅そばの「草笛蕎麦」のたれは甘目。いずれも出しがよくきいたウマたれでした。



蕎麦好きにはたまらない3日間でした。

◆第1日午後 中軽井沢の自然に親しむ散策



メレーズ軽井沢から、全員が徒歩で2時間の散策をしました。20分ほど歩いて千ヶ滝通りに出、小径をたどってハルニレテラスへと逍遙です。

**ハルニレテラス** おしゃれな日帰り施設でした。

ショッピング、食事、お茶と観光客向けの施設です。そばには小川が流れていて、その岸での休憩が絶品でした。せせらぎの音に、無上の心地よさを感じました。



### 石の教会・内村鑑三資料展示室

これはすごい、ここを訪れる意義アリアリでした。自然に融け込む！を感じる石造りの教会で、外見は壮大な登り窯様、内部は敬虔な祈りの場でした。教会の椅子に座り祭壇の上に目を向けると、青空をバックにした萌え出ずるケヤキの新緑が迫ってきました。内村鑑三が“無教会思想”を唱えて作った「石の教会」の面目躍如でした。



### 北原白秋文学碑

カラマツ林の中にありました。4行8連の絶唱「落葉松の詩碑」を背にして記念写真を撮りました。



## ◆第2日 「軽井沢組」

### 碓井峠見晴台観光

旧軽の観光会館前から出発する赤バスで往復しました。料金は往復800円、碓井峠の絶景を手軽に楽しみました。群馬と長野の県境での記念写真は、記録ものです。



### 旧軽井沢銀座通り

ショッピングと散策を楽しみました。旧軽の定番でした。



### つるや旅館 昔の脇本陣

軽井沢は中山道の宿場町でした。旧軽銀座の奥に、旅館に衣替えした脇本陣「つるや」が堂々たる建物でありました。島崎藤村、芥川龍之介、志賀直哉などが宿泊したそうです。



### テニスコート

現天皇ご夫妻の出会いの場で有名なテニスコート、ここも見学しました。近くの土屋写真館にその当時のお二人の様子を写した写真が飾ってありました。



### 雲場池



健脚組が一周しました。軽井沢らしいたずまいでした。池の周りの緑が水鏡に写り込み、その間に白雲が映って華やかでした。

### 軽井沢観光会館

外観レトロで、旧軽井沢商店街の中ほどにあり、シンボリック存在です。2階の展示室には、碓井峠越えのアプト式機関車の歴史的写真がありました。当時使用されていたアプト式のラックレール30センチメートルの展示もありました。ラックに歯車が噛み合い、そのためラックは押しつぶされたひしゃげた姿でした。碓井峠の急こう配を登攀する、機関車の歯車の強力ぶりの証と感じました。

### 「小諸懐古園組」

懐古園は旧小諸城の城跡で、新緑が力強く空に向かって繁り、アジサイの豪華な花が競っていました。入場料は500円、懐古園のいろいろな施設が観光できました。



城址に特有の大石を丈高く、厚みを擁して積んだ姿、これを前になると歴史をつくった人々の声がきこえてくるようでした。



### 旧小諸城跡散策

武田信玄が小諸城を本格的なものとする基礎を築き、戦国の世に威容を誇り、江戸時代は牧野氏の居城になっていました。明治維新で廃城と





なり、大正時代に市民公園になった歴史経緯だそうです。旧小諸藩士が資金を集めて城址を払い受け、公園として整備した際の命名が懐古園だそうです。

### 三の門 懐古園の正門

小諸駅から徒歩5分で、懐古園の入り口につきます。ここは小諸城の三の門です。二層構造で両側には矢狭間や鉄砲狭間が残っていました。「懐古園」の額が掲げてありました。記念写真をここで1枚パチリです。

### 懐古館

古文書、鎧兜、刀剣などなど、ものは言わぬが厳然たる歴史証人がずらり、結構な迫力とオーラでした。

### 小諸義塾記念館 往時の姿を残した二階造り

この地域の有志が、意気軒高と明治の御代に打って出る意気込みが、ひしひしと伝わってくる展示が多数ありました。展示してあったオルガンに、当時の音楽授業を偲びました。藤村も先生の一員、島崎春樹と記載されていました。



### 大樺 幹回り 6.5m

しっかりタッチして、長寿のパワーをいただきました。



### 藤村記念館 地味な平屋



藤村が小諸にいたころの資料の展示がありました。この時代には、写真を撮ることが普及したようで、日常の何気ない姿が残っていました。

### 藤村惜別の歌碑

歌碑のそばのボタンを押すとメロディが流れました。口ずさんでみましたが、物悲しい響きです。

### 小山敬三美術館

浅間山の四季折々の彩やうつろいの姿、これをキャンバスに奔放に写し取っていました。小諸市出身ならでは、愛情あふれる浅間山風景です。終活などはどこ吹く風、89歳までの現役活躍に大いに刺激を受けました。



## ◆第3日 離山公園の歴史建物見学

### 雨宮敬次郎旧邸

百二十坪の和風の堂々たる大邸宅でした。明治一代での分限者で、軽井沢の開拓者です。大日本軌道なる蒸気軌道を運営し、雨宮鉄工場で鉄道車両を製造して

いました。多彩な人生を送った人でした。関東の流山鉄道は、雨宮の車両でした。

訪れたとき、書道家稲垣黄鶴氏の手蹟展示がありました。九十歳を超えた頃に製作された百人一首の読み札に、流麗なかな文字が流れるがごとく躍るがごとくあり、その筆致を拝見しました。

### 旧近衛文麿別荘 現在市村記念館 瀟洒な洋風外観

木造二階屋で外部洋風、内部は和風造りでした。マントルピースの場所に長火鉢があったり、鉄瓶がかかっていたり、あるいはその当時流行った出窓風の腰掛、凝った階段の手すりの飾りなど見飽きない造作でした。この建物に、昭和時代の命運を決める重要人物が集ったことを思い、この建物の保存の意義を痛感しました。



## 感想

### 小野祥江・孝司 (埼玉県流山市)

軽井沢2泊3日の日記です。以前には、軽井沢ではせわしく過ごすことが多かったのですが、今回は落ち着いて見聞きできました。

雰囲気のあるホテルでの宿泊も、嬉しかったです。石の教会、懐古園、古い別荘地、昼飯のそば、地ビールと、どれもこれも感激でした。いつも旅の移動は車ですので、実は初めて北陸新幹線に乗り、忘れられない旅になりました。幹事さんありがとうございました。

### 村上有三・千恵子 (東京都文京区)

宿泊施設は、中軽井沢にあり星野温泉まで森の中を歩いて20分位の別荘地区に建っています。ワールドステイクラブの参加者のみの宿泊で、まさに貸切り状態でした。さすが軽井沢、東京の暑さとは雲泥の差の涼しさで、たいへん気分良く過ごしました。

夕食時のクルミパンはおいしく、お代わりをして3個も食べました。朝食後のテラスで、皆さんとのコーヒーは、清々しく時の経つのを忘れるほどでした。

我々は1泊でしたので、翌日は星野温泉のトンボの湯の素晴らしい大露天風呂にゆっくりと浸かり、旧軽井沢の茜屋珈琲店でコーヒーを飲み、帰路につきました。軽井沢の涼しさは最高のご馳走でした。